

臨床研究に関する情報公開

<研究課題名>

高齢者古典的ホジキンリンパ腫の臨床病理学的特徴と治療に関する多施設共同後方視的観察研究：HORIZON study

<研究責任者名>

近畿大学病院 血液・膠原病内科 (当院研究責任医師) 松村 到
国立病院機構名古屋医療センター (研究代表医師) 永井 宏和

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2023年 5月 14日

<研究の目的と意義>

初発の高齢者古典的ホジキンリンパ腫(classic Hodgkin lymphoma, cHL)に対する治療内容とその有効性および有害事象(副作用)を後方視的に調査し、その診療実態を明らかにすることを主な目的としています。cHLは本邦において発症頻度の低い疾患でありまた、本邦の高齢者cHLに対する診療実態に関する多数例の報告は皆無です。そのため、今後前方視的に検討すべき治療上の有用な情報を明らかにするために今回の観察研究を行います。

この研究に参加しない場合でも、今後の診療になんら不利益を受けることはありません。

<利用する試料・情報の項目>

生年月日、性別、院内ID、診断時の年齢、performance status(PS)、身長、体重、初回診断日、初発時病気(B症状、bulky病変の有無、節愛病変の有無を含む)、喫煙歴、既往歴、合併症(心筋梗塞の既往、うっ血性心不全、末梢血管疾患、脳血管障害、認知症、慢性肺疾患、膠原病、胃潰瘍、片麻痺、悪性腫瘍)、血液検査結果、cHLに対する初回治療開始日、初回治療開始前の全身状態、治療内容、治療効果、再発の有無、生存の有無などの臨床情報を解析します。また、診断時の生検検体を用いて病理中央診断を行います。

新たに研究に登録していただく必要はなくまた、追加の検査をしていただく必要もありません。

<対象となる患者さん>

2007年1月1日から2016年12月31日までに生検により病理組織学的にcHLと診断され、当院で紹介治療を受けた診断時年齢が61歳以上の患者様。

<研究の方法>

当院の電子診療録に登録されている臨床情報、診断時の検体を用いて解析します。

<外部への試料・情報の提供等>

個人を特定できる施設名、カルテ番号、氏名は匿名化を行い提供します。提供した診療情報は、研究事務局が管理し、研究結果の最終報告の公表後に破棄します。

また、匿名化した情報の対応表は施設責任者が保管・管理します。

<本試験に関する問い合わせ>

本研究に関する質問、相談、また参加を希望されない場合は下記までご連絡をお願いします。

近畿大学病院 血液・膠原病内科

担当 口分田 貴裕 072-366-0221 (内線 3128)